

1 現状認識

①申請者の事業概要

事業概要について、詳しく記載

情報セキュリティ方針 制定日： 年 月 日 } 制定した日付を
情報セキュリティ運用規定 制定日： 年 月 日 } 記載してください

②サイバーセキュリティ対策実施に係る現在の課題

サイバーセキュリティ対策に係る現在の課題について、具体的に記載

2 サイバーセキュリティ対策の実施について

①実施する内容

（課題解決を図る目的・手段を記載。※補助対象外の内容も含めて記載）

サイバーセキュリティ対策を実施する目的や、どのような取組を実施することで、②に記載した課題の解決を図っていくのかを具体的に、記載

②期待される効果 **（定性的かつ定量的に記載）**

定性的効果と定量的効果の
両側面から記載

例) 定性的効果

・セキュリティ対策実施により、サイバー攻撃のリスクを低減し、顧客からの信頼度向上につながる。

例) 定量的効果

・サイバー攻撃による年間喪失リスクが1,000万円から300万円に減少することが期待できる。

様式第2（第7条関係）

③事業スケジュール

着手予定日	年	月	日
完了予定日	年	月	日

事業の着手と完了の予定日を記載（着手については、期間に余裕をもつこと）
なお、完了予定日は、支払い完了までを含むものとする

④今後の実施計画

（今後実施する予定のセキュリティ対策を、組織的対策、人的対策、物理的対策の3つの観点から、時系列で記載）

年月日	実施内容
R8.5.1	セキュリティ事故発生時、迅速に対応するため、自社のインシデント対応体制の整備を実施する。（ <u>組織的対策</u> ）
	情報資産の棚卸を行い、改めて自社のセキュリティ対策の現状を把握する。（ <u>組織的対策</u> ）
R8.9.1	社員のセキュリティリテラシー向上のため、外部に委託し、社内教育及び攻撃型メール訓練を実施する。（ <u>人的対策</u> ）
R9.2.1	サイバー攻撃による被害を最小限にとどめるため、EDRを導入する。（ <u>物理的対策</u> ）

当社は、令和 年 月までに、「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度の認証取得（★3以上）」を目指します。

→下記 URL を参照し、同意する場合はチェックを入れること
（https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_seido/wg_supply_chain/20251226_report.html）

様式第2（第7条関係）

⑤セキュリティ対策の明細 ※補助対象外の対策についても記載

	対策の内容 機器等の名称	対策の詳細 設備等の種類	数量	金額(税抜)	対象経費該当 (該当経費に○)
1	製品名・型番	ソフトウェア 初期導入費用	1	100,000 円	○
2	サービス名	クラウド月額 利用料	12ヶ月	240,000 円 (20,000×12)	○
3				円	
4				円	
5				円	
補助対象経費合計(A) ※対象経費該当欄で○の金額の合計				340,000 円	
交付申請額 (A) × 1/2(百円未満切捨) 上限50万円				170,000 円	

※欄が足りない場合は適宜、行、ページ数を追加すること

- ・補助対象経費については、○を記入
- ・補助対象外経費についてもすべて記載
- ・リース料、利用料は、当該年度の2月末までに支払いを完了させた分が対象。一括で支払う場合は、最大1年間分が対象。